

日本経済の持続的発展と 内航輸送の高度化

～デジタル化がもたらす内航海運の今後の持続的発展と課題～

岐路に立つ内航海運の今後の安定化、高度化の在り方を、デジタル化をキーワードとして
ヒューマンウェア、ソフトウェア、ハードウェアの3つの側面から議論します。

日時 / 会場

2019年10月7日(月)

① シンポジウム

13:00～16:30

岡山大学津島キャンパス 創立五十周年記念館

SESSION I

基調講演

① 「デジタル時代に内航海運に求めるもの」

(一財)日本海事協会 会長 富士原 康一

② 「令和・新時代の内航海運政策～内航船員の働き方改革、事業の在り方、そして内航イノベーション」

国土交通省 海事局長 大坪 新一郎

③ 「内航海運の課題と展望」

日本内航海運組合総連合会 理事長 加藤 由起夫

SESSION II

パネルディスカッション

「デジタル化と内航輸送の未来」

《コーディネーター》 岡山大学 教授 津守 貴之
《パネラー》

国土交通省 海事局長 大坪 新一郎
(一財)日本海事協会 会長 富士原 康一
ナカシマプロペラ(株) 代表取締役社長 中島 基善
日本内航海運組合総連合会 理事長 加藤 由起夫
(一社)海洋共育センター 理事長 蔵本 由紀夫

② 懇親レセプション

17:30～19:00

ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 曲水

共催 / (大)岡山大学・社会文化科学研究科・経済学部 (一財)日本海事協会 日本内航海運組合総連合会
(一社)海洋共育センター 国土交通省

後援 / (一社)日本船用工業会 (一社)日本中小型造船工業会

